



立地適正化計画策定に関する ワークショップを開催しました

日進市では、現在、立地適正化計画を策定しており、その計画づくりの一環として市民の声を聞き、今後の参考とするためにワークショップを開催しました。

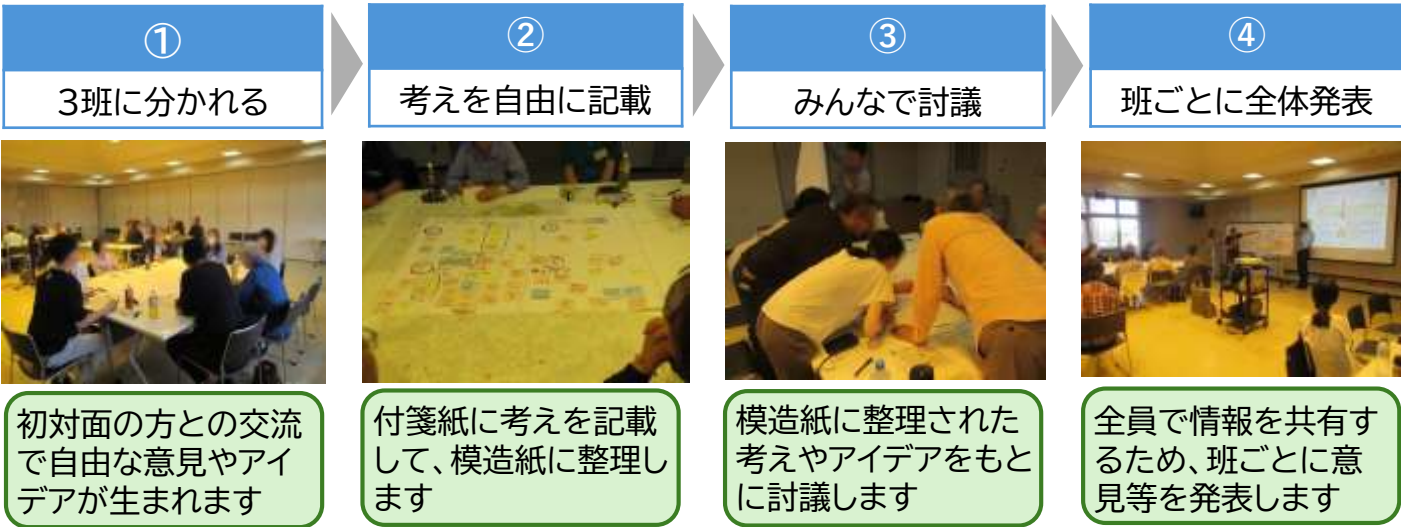
立地適正化計画は、将来の人口減少・高齢化に備え、医療・福祉・商業施設や住居等がまとまって立地し、市民が公共交通により生活利便施設などにアクセスできるよう、“コンパクト・プラス・ネットワーク”のまちづくりを目指すものです。都市の持続可能な発展とともに、公共交通ネットワークを活かした快適で便利、そして安全で住みやすいまちづくりのための重要な計画です。

ワークショップの概要



無作為に抽出した1,500名(市内在住18歳以上)の方等に簡易なアンケート調査とワークショップへの参加希望を伺い、2日間のワークショップに両日とも参加可能と回答した方に参加いただきました。

【ワークショップの流れ】



【開催日、テーマ等】

	第1回	第2回
日時	5月24日(土)午前10時～	6月7日(土)午前10時～
場所	中央福祉センター(大会議室)	
参加人数	20名	21名
テーマ	<ul style="list-style-type: none"> ●日常生活圏や鉄道駅周辺(都市拠点)に関する現状について ⇒都市サービス、公共交通サービス、道路・公園のインフラ等に関する“良い・悪いところ”、“満足・不満なところ”、“便利・不便なところ”など 	<ul style="list-style-type: none"> ●日常生活圏のまちづくりのあり方 ●鉄道駅周辺(都市拠点)のまちづくりのあり方 ⇒日進市の今後の都市づくりに向けた思いや願いなど ⇒誘導すべき都市施設



参加者の主な意見

こんなまちだったら
いいなあ



ワークショップでは活発な意見交換をしていただきました。意見交換で出された主な意見をご紹介します。

日常生活圏

<良いところ>

- 自然に恵まれている
- 住みやすい住民自治が活発
- 名古屋へのアクセス良好

<悪いところ>

- バスの利用が不便
⇒くるりんバス便数が少ない
- 公共施設の老朽化
- 幹線道路の整備が遅れている
⇒生活道路にまで通過交通が侵入し危険
- 食料品スーパーが近くにない

鉄道駅周辺

<良いところ>

- 赤池駅にモールが出来て便利になった
- 名古屋、豊田へ出やすい

<悪いところ>

- (3駅)
- 周辺に駐車場、駐輪場が少ない
- 駅までが遠い
(赤池駅)
- 駅付近の交通渋滞
(日進駅・米野木駅)
- お店が少ない、活気がない

<こうなったらいいな>

- 県道瀬戸大部東海線沿いにもっとお店ができると良い
- 歩道や自転車道の整備
- 生活道路の抜け道対策
- 高齢者の移動サービスの充実
- 子育て世代や高齢者の方も一緒に楽しめる施設が欲しい
- 駐車場があって買い物ができる子供が遊べる場所がほしい
- 子どもたちが集まれる場所が欲しい
- 人とのつながりがうまれるコミュニティの場があると良い
- 日進市の魅力を伝える活動やイベントの開催

<こうなったらいいな>

- 赤池駅前広場の改善
- 赤池駅周辺でのんびりできる空間や商業施設も欲しい
- 待ち合わせ出来る場所(カフェ、ファミレス)があると良い
- 人が集まれる場所ができると良い
- 低層に広がる駅ビルができると良い
- 歩いて寄れるワーキングスペースが欲しい
- 託児や放課後預けれる場所がほしい
- どの駅にも市役所がよく使う機能(行政サービス)が欲しい
- 駐車場、駐輪場の充実
- 空きビルの有効活用

【ワークショップ参加者の感想等】

- 初参加でしたが、同じ市内に住んでいても、地域差があり、考え方の違いを感じた。
- いろいろな世代の方の意見が聞けました。高齢者の方でも今どきの意見をお持ちでびっくり、うれしかったです！！
- 楽しめた、引き続き市、行政と話す機会を作ってほしい。
- 日頃、知り合えない地域の方と交流ができた。
- 集まった声が届くようにしてほしい。

